資料３

１２月定例会議　振り返り事項

（厚生文教常任委員会）

１　自らが所属する常任委員会で追跡調査すべきと考える政策・事務事業等
（１）一般質問から
（２）質疑（討論）等から
２　他の常任委員会に追跡調査を依頼したい政策・事務事業等
（１）一般質問から 11 月 15 日開催常任委員会でも説明があったように、町が取り組む EBPM を起点にした地域公共交通政策立案においては、今後増加していく高齢ドライバーの免許返納後のニーズに応じられるよう、現状の移動手段以外にもオンデマンド型やライドシェアの可能性など、国の動向も見据えながら幅広い視点を持って今後の所管事務調査に臨んでいただきたい。
（２）質疑（討論）等から 20 日の予算決算特別委員会では、新嵐山再生に係る旅費等に計上において、町長からは「議会も先進視察等に赴いてはいかがか」との答弁があった。 これまでも所管委員会では政策サイクルの抽出事項に何度も取り上げながら「観光振興」に関わる先進事務調査は行われて来なかった。 まずは他所の事例を知ることから、本町にふさわしい観光振興のあり方を論じられるのだと考える。議員派遣の手法（いつ、誰がいくのか等）は今後の議会内での議論に委ねるが、議会の主体的な調査として先進事例を見にいくべきと考える。
３　議会運営全般に関する検討（定例会議を通じて、改善に向けて取り上げるべきもの）
11 月 23 日に開催した土山先生による質問力向上のための議員研修会を機に、初めて一般質問に登壇された伊藤議員がとても端的で良い質問をされた（菊池議員も同様にブラッシュアップされたと感じた）。 今後も、こうした取組を議会として継続できるよう、研修計画の中に盛り込んではいかがだろう。研修で学んだ「一般質問を議会の政策資源にする」という共通認識を持ち、議員同士が互いにブラッシュアップできる機会を持続したい。
４　その他（定例会議を通じて、改善に向けて取り上げるべきもの、審議方法などで分からなかった点など）